

令和2年4月9日（第1号）

## 自走

特別進学コース主任  
平原 澄夫

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活にも大きな影響が出ています。状況が落ち着くまでには、しばらく時間がかかりそうです。そのような中での新学年のスタートとなりましたが、今ここに集う特別進学コースのみなさんは、期待と不安、そして、新たな決意を抱いて今日を迎えていると思います。これから過ごす1年間で、みなさんにとって、そして、特別進学コースに関係する先生たちにとっても飛躍の年としたいのです。共に切磋琢磨していきましょう。

さて、私たちを取り巻く社会環境は、少子高齢化、高度情報化、グローバル化、新興経済国の台頭など、目まぐるしく変化しています。これらの変化に伴い、私たちがこれまで経験してきたやり方や考え方が通用しない問題にぶつかるケースも増えてきました。特に、今年度は、大学入試共通テストがスタートする初年度でもあります。大きな変化は私たちのすぐそばでも起きていることを自覚しなければいけません。つまり、社会の変化に伴い、私たちに求められている資質や能力も大きく変化していることに気づかなければならないのです。

今年度の特別進学コース便りを「自走」とネーミングしました。読んで字のごとく、「自分で走る」という意味です。「自走する」ためには、さまざまな力が求められます。例えば、「自ら考える力」「自ら選択する力」「自ら計画する力」「自ら計画を実行に移し、継続する力」「自ら現実を振り返り、それを次の行動に活かす力」などなど。「自走する」ためには、「自ら・・・」という、言葉が示すように、みなさんの主体的な思考や行動が伴わなければなりません。特別進学コースに在籍する全てのみなさんが、学校生活を通して「自走」し、社会に貢献できる人間に成長することを願い、今年度の特進便りを「自走」というタイトルに決めました。1年間、よろしくお願いいたします。

質問：

あなたにとっての「自走」とはどのような状態であることを言いますか。また、「自走できる人」と「自走できない人」とでは、学校生活にどのような違いが出てくると考えますか。後ほど、Classiのポートフォリオで質問を配信します。あなたの意見や考えを共有して下さい。